

鹿嶋祭保存会 第36回事業部会議事録

日 時

場 所

令和2年7月13日(16時～17時)

ウェスター 洋室

出席者

[事業部会委員] 狩野紀男部長 藤田 章副部長 横山誠治副部長 赤坂光一理事
小野良治監事 石黒博美理事 辻 直文理事 高橋真人理事
大塚正一理事
O.Z:高橋 伸広報部長 O.Z:藤枝隆博事務局総務

出席者 6名/11名

本日の議事

- (1) 部長挨拶
- (2) 第35回会議議事録の確認
- (3) カツギ調査委員会の発足等について
- (4) 模範的な鹿嶋人形検証・制作協議会(仮称)について
- (5) その他

次回部会開催日 令和2年10月12日(月) 16:00(変更有り)

場所 ウェスター会議室 (ルームNo.等は後日案内)

議事内容

(1) 部長挨拶

- ・ 事業部としての、テーマは薄れてきている。今回のテーマ「(3)(4)」は本来全体会で話し合う内容であるが、総務の方から保存会を事業部で牽引していってもらえないかと打診がありましたが、皆さんいかがでしょうか。今回このこともテーマとさせていただきます。

(2) 第35回会議議事録の確認

(5) 模範的な鹿嶋人形の顔づくりの今後について

- ・ 「緑町の顔型を」の文言が二段になっているので、二段目を削除した。

(3) カツギ調査委員会の発足等について

① 生息実態調査委員会のメンバーについて

- ・ 理事会で、調査委員会及び制作協議会のメンバーを事務局が主体性を持って決める事で一致したので、事業部で人選するのは無理である。

② 委員会の目標等(生息調査とマップ作成)について

- ・ 特に特記事項無し

③ ガツギの栽培に(栽培方法。場所等と経費)について

- ・ 新屋の鹿嶋祭は、ガツギを使用して制作するのが伝統であるので、まずこれを守らなければならないし、残していかなければならないのでは。

議事内容

(4) 模範的な鹿嶋人形検証・制作協議会(仮称)について

①検証・制作協議会のメンバーについて

- ・(3)①と内容は同じ

②秋田公立美術大学との連携の在り方(経費等)について

- ・美大生と関わりを持っていくことは大事であるが、美大生に頼り切ってはいかなものか。もっと町内の若い人に参加しやすい雰囲気をつくり、伝統ある鹿嶋祭を継承していってもらわないと衰退して行くのでは。

③骨組み・頭部(素材よ型や顔)・衣装(材料や容姿)の統一について

- ・特に特記事項無し

④模範的な鹿嶋人形の普及(人形キットやワークショップ等)について

- ・特に特記事項無し

(5) その他

- ・保存会としてやるべき事業等がなくなってきたので、会員が離れていっているのが現状である。
- ・今後は保存会各部の再編が絶対必要である。その上で調査委員会、制作委員会のメンバーが決定したときに事業部が牽引してほしいとなれば、受けてもいいのでは。
- ・コロナ感染拡大の影響で事業部として他地域の鹿嶋祭視察は出来ない。
- ・今年度のウェスター祭は中止となりました